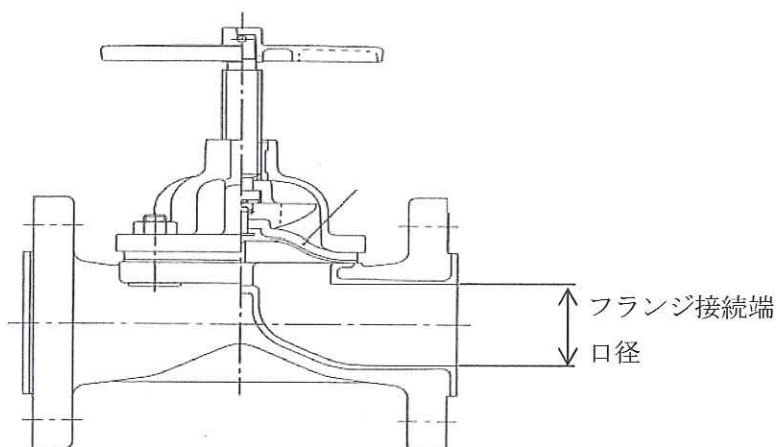


図 3. 7-1 フランジ接続の場合の接続端口径

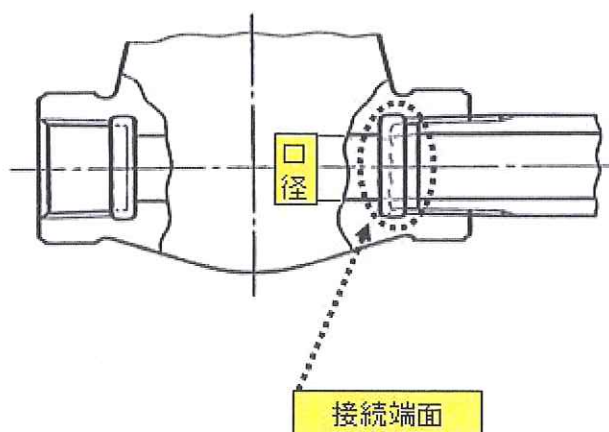


②ねじ込み接続

ねじ込み形とは、配管にネジを切ってバルブに直接ねじ込むタイプである。ここでは口径は開口部の直径を意味しない。なぜなら開口部の直径はねじ込む配管の外径に等しいが、配管外径は流路直径（配管内径）より管の肉厚分（正確には肉厚の2倍）だけ大きくなるし、また接続端面の位置もバルブ開口部ではなくて挿入された管の先端部になるからである。従ってねじ込み式の場合の口径は、ねじ込まれた管の先端部の位置におけるバルブ流路直径が口径となる。

差込み溶接の場合もねじ込み接続と同様に、挿入された配管の先端部の位置における流路直径が口径である。

図 3. 7-2 ねじ込み形接続



(5) 入口と出口の呼び径が異なるバルブの扱い

用語の解釈にも規定の通り、内容物が弁に入る接続端と弁から出る接続端のいずれか小さい方の接続端の呼び径で判定する。いずれか小さい方の接続端の呼び径が10A超